

平成22年度事業報告

平成22年4月1日から平成23年3月31日までの事業概要は次のとおりである。

〔1〕会 員

平成22年度末の会員数は次のとおりである。

区 分	会 員 数	備 考
個 人 正 会 員	2,140名	うち海外在住外国人正会員71名
団 体 正 会 員 (公 益)	85名	
団 体 正 会 員 (賛 助)	65名	
学 生 会 員	442名	
名 誉 会 員	20名	うち外国1名
合 計	2,752名	

〔2〕運営に関する会議

1. 第30回通常総会の開催

第30回通常総会を次のとおり開催した。

- (1) 日 時 平成22年6月15日(火) 13時00分～13時39分
- (2) 場 所 タワーホール船堀(東京都江戸川区)
- (3) 出席者 1,213名
- (4) 議 題
 - 1) 平成21年度事業報告および決算(案)について
 - 2) 平成22年度事業計画(案)および予算(案)について
 - 3) 名誉会員の推挙について

2. 理事会の開催

理事会を次のとおり開催した。

(1) 第86回理事会

- 1) 日 時 平成22年5月18日(火) 15時00分～17時20分
- 2) 場 所 学会事務局会議室(東京都江東区)
- 3) 出席者 藤江会長他理事21名、委任状による出席理事10名、幹事5名、他に事務局
- 4) 内 容
 7. 名誉会員の推挙について
 4. 各賞受賞理由書(学会賞、学術賞、論文賞、論文奨励賞、技術賞)について

- ウ. 平成 21 年度事業報告および決算報告(案)について
- エ. 平成 22 年度事業計画(案)および予算(案)について
- オ. 総会開催案内・委任状について
- カ. 公益社団法人への移行について
- キ. 新入会員の理事会承認について
- ク. 各担当理事報告
- ケ. その他

(2) 第 87 回理事会

- 1) 日 時 平成 22 年 8 月 30 日 (月) 15 時 00 分～16 時 45 分
 - 2) 場 所 学会事務局会議室(東京都江東区)
 - 3) 出席者 藤江会長他理事 17 名、委任状による出席理事 12 名、幹事 3 名、他に事務局
 - 4) 内 容
 - ア. 理事及び監事選考規則の改正
 - イ. 会員種別の新設について
 - ウ. 京都会議記念基金・派遣助成制度助成対象者の選考について
 - エ. 平成 21 年度年間優秀論文賞(メタウォーター賞)選考結果について
 - オ. 新入会員の承認について
 - カ. 研究委員会の継続申請について
 - キ. 理事候補者選考管理委員会の設置について
 - ク. 各委員会委員の選任について
 - ケ. 平成 22 年度予算執行状況
 - コ. 各委員会報告
 - サ. 各支部報告
 - シ. その他
- ・理事会の後に理事懇談会を開催した。

(3) 第 88 回理事会

- 1) 日 時 平成 23 年 3 月 22 日 (火) ～29 日 (火)
- 2) 場 所 メール開催
- 3) メール配信者 藤江会長他理事 32 名、監事 2 名、幹事 15 名、他に事務局
- 4) 内 容
 - ア. 定款変更案について
 - イ. 平成 23 年度暫定予算(案)について
 - ウ. 平成 22 年度水環境文化賞受賞候補者選考結果について
 - エ. 会長特別賞の提案及び選考について
 - オ. 理事候補者の承認
 - カ. その他

〔3〕 年会

第 45 回日本水環境学会年会を次のとおり開催した。

1. 日 時 平成 23 年 3 月 18 日 (金) ～20 日 (日)
2. 場 所 誌上開催
3. 講演集発送数 811
4. 発表件数 724 件

〔4〕 シンポジウム

第 13 回日本水環境学会シンポジウムを次のとおり開催した。

1. 日 時 平成 22 年 9 月 8 日(水)～9 日(木)
2. 場 所 京都大学 (京都市左京区)
3. 参加者 495 名
4. 15 の研究委員会がそれぞれシンポジウムを企画し開催した。
5. 本部・湿地・沿岸域研究委員会共同企画として「琵琶湖・淀川流域再生の最前線」を企画し開催した。
6. 実行委員会・関西支部共同企画として「水環境中の汚染化学物質分析評価の今後について」を企画し開催した。
7. 京都大学企画として「アジア・アフリカとの協働による環境リーダー育成のための国際拠点形成事業」を企画し開催した。
8. 若手研究紹介 (オルガノ) セッションを開催し、博士後期課程学生の研究発表とその表彰を行った。
9. 年間優秀論文賞 (メタウォーター賞) 受賞者講演とその表彰を行った。

〔5〕 国際会議

1. Water and Environment Technology Conference 2010 (WET2010)を開催した。

開催日： 平成 22 年 6 月 25 日(金)～26 日(土)

場 所： 横浜国立大学教育文化ホール (神奈川県横浜市)

2. 中国環境科学学会、桂林理工大学、清華大学、中国科学院生態環境研究中心と共催で第 9 回日中水環境シンポジウムを開催した。

開催日： 平成 22 年 6 月 28 日(金)

場 所： 桂林理工大学 (中国桂林)

3. 大韓環境工学会、嶺南大学環境問題研究所と共催で第 19 回日韓水環境シンポジウムを開催した。

開催日： 平成 22 年 10 月 26 日(火)

場 所： ホテル鷗風亭 (広島県福山市)

〔6〕 機関誌

1. 機関誌「水環境学会誌」を毎月発行し、会員に配布した。
2. 機関誌“Journal of Water and Environment Technology”を発行した。

3. 機関誌「水環境学会誌」原著論文およびバックナンバーを科学技術振興機構（JST）が運営する J-STAGE 上で公開した。
4. 「水環境学会誌」およびその前身の「水質汚濁研究」の Vol.1～Vol.30 の PDF 版を収めた DVD-ROM を販売した。

〔7〕 IWA 活動への協力

1. IWA およびその国内委員会の活動に参加し、IWA 活動を支援・推進した。
2. 国際会議の企画、開催、運営などに協力した。
3. IWA 発行機関誌などの編集に協力した。

〔8〕 出版企画

“Water Pollution Control Policy and Management: The Japanese Experience”改訂版の編集を行った。

〔9〕 支部活動

7 支部がそれぞれ総会、講演会、セミナー等を実施した。

〔10〕 研究委員会活動

18 研究委員会（嫌気性微生物処理、MS 技術、生物膜法、身近な生活環境、ポピュレーションダイナミクス、バイオアッセイによる安全性評価、土壌地下水汚染、水環境と洗剤、水環境保全の国際協力、水中の健康関連微生物、湿地・沿岸域、ノンポイント汚染、水環境教育(WEE21)、膜を利用した水処理技術、流域水環境ソリューション、紫外線を利用した水処理技術、産業排水の処理・回収技術、水環境の総合指標）が、それぞれシンポジウムでセッションを企画するなどの活動を行った。

〔11〕 表 彰

平成 22 年度の学術賞、論文賞、論文奨励賞（廣瀬賞）、技術賞および水環境文化賞の受賞者を選考の結果、次の各氏・団体に決定した（敬称略・50 音順）。

(1) 学術賞

受 賞 者 ふるまい ひろあき
古 米 弘 明（東京大学大学院工学系研究科・教授）

対象研究 都市における雨天時汚濁流出現象に関する研究

(2) 論文賞

受 賞 者 きむら かつき
木 村 克 輝（北海道大学大学院工学研究科 現 工学研究院・准教授）

主要対象論文 Changes in characteristics of soluble microbial products in membrane bioreactors associated with different solid retention times: Relation to membrane fouling

掲 載 誌 *Water Research*, Vol.43, Issue 4, 1033-1039 (2009)

(3) 論文奨励賞 (廣瀬賞)

- 1) 受賞者 かすが いくろう
春日 郁朗 (東京大学大学院工学系研究科)
- 対象論文 Predominance of ammonia-oxidizing archaea on granular activated carbon used in a full-scale advanced drinking water treatment plant
- 掲載誌 *Water Research*, Vol. 44, Issue 17, 5039-5049 (2010)
- 2) 受賞者 とくとみ たかあき
徳富 孝明 (栗田工業株式会社)
- 対象論文 A novel control method for nitrification: The domination of ammonia-oxidizing bacteria by high concentrations of inorganic carbon in an airlift-fluidized bed reactor
- 掲載誌 *Water Research*, Vol.44, Issue 14, 4195-4203 (2010)

(4) 技術賞

受賞者

セントラル科学株式会社

なかやま まさき
仲山 正樹

セントラル科学株式会社

あんべ ひでお
安倍 英雄

セントラル科学株式会社

いわた いちこ
岩田 一子

対象技術 土壌中有害無機物質の簡便迅速測定技術

(5) 水環境文化賞

受賞者 NPO 法人カラカネイトンボを守る会 あいあい自然ネットワーク (北海道札幌市)

対象活動 篠路福移湿原再生に関する取り組み

(6) 会長特別賞

受賞者 きたじま まさあき
北島 正章 (東京大学大学院工学系研究科 (博士後期課程))

受賞理由 「水環境中における病原ウイルスの分子疫学的解析および感染リスク制御」と題する研究で天皇陛下の御下賜金により創設された(独)日本学術振興会育志賞を受賞するなど、水環境分野の発展と当学会のプレゼンス向上に大きく貢献した。

(7) 博士研究奨励賞 (◎: 最優秀賞)

きたじま まさあき
◎北島 正章 (東京大学大学院工学系研究科, (独)日本学術振興会・特別研究員)

あんどう なおや
安藤 直哉 (北海道大学大学院工学研究科)

きしだ みさこ
岸田 美紗子 (鹿児島大学大学院理工学研究科)

こじま けいすけ
小島 啓輔 (東京大学大学院工学系研究科・特任研究員)

ずし やすゆき
頭士 泰之 (横浜国立大学大学院環境情報研究院, (独)日本学術振興会・特別研究員 PD)

たかはし まさのぶ
高橋 優信 (長岡技術科学大学教育研究高度化プロジェクト・教育研究支援員)

とくむら まさひろ
徳村 雅弘 (東京大学大学院新領域創成科学研究科・特任研究員)

(オルガノ株式会社からの出捐顕彰事業として、第13回シンポジウムで発表した上記7名の大学院博士後期課程学生に「博士研究奨励賞」を授与し、うち1名に最優秀賞を授与した。)

(8) 水環境国際活動賞 (JSWE-IDEA Water Environment International Activity Award)

おぬき もとはる
小貫 元治 (東京大学大学院新領域創成科学研究科・特任准教授)

(いであ株式会社からの出捐顕彰事業として、「タイの水資源管理と水循環の問題を通してアジアの水環境とサステナビリティを考える国際教育ワークショップ Intensive Program on Sustainability (IPoS) 2011 の実施」に対し、「水環境国際活動賞」を授与しその費用の一部を助成することを決定した。)

(9) 年間優秀論文賞

受賞者 わたなべ こうぞう やえがし さきこ きくち ゆうじ たけもん やすひろ かざま そう
渡辺 幸三*, 八重樫 咲子*, 菊池 裕二**, 竹門 康弘***, 風間 聡**,
おおむら たつお
大村 達夫*

*東北大学大学院工学研究科

**東北大学大学院環境科学研究科

***京都大学防災研究所水資源研究センター

対象論文 DNA多型マーカーによるヒゲナガカワトビケラの流域内移動分散パターンの評価
掲載誌 水環境学会誌, Vol.32, No.5, 253-258 (2009)

(メタウォーター株式会社からの出捐顕彰事業として、上記の論文の著者に「年間優秀論文賞」を授与し、第13回シンポジウムで発表するための旅費等を助成した。)

[12] 国際活動

国際会議参加援助

京都會議記念基金を基に、とくむらまさひろ 徳村 雅弘氏 (東京大学大学院新領域創成科学研究科) に対して平成22年9月19日~24日に開催されたIWA世界水会議2010(モントリオール)参加のための渡航費用等を助成した。

[13] 事業活動

1. 受託研究調査の実施

環境省からの受託研究調査を次のとおり実施した。

平成 22 年度環境技術実証事業（湖沼等水質浄化技術分野）の実証運営業務

平成 22 年度水環境健全性指標検討調査業務（株式会社日水コンと共同で実施）

2. セミナー等の開催

セミナー等を次のとおり開催した。

(1) 第 19 回市民セミナー

- 1) テーマ 食糧と水—私たちが生きていくために—
- 2) 開催日 平成 22 年 8 月 27 日(金)
- 3) 場 所 東京会場：地球環境カレッジホール（東京都世田谷区）
大阪会場：いであ(株)大阪支社 ホール（大阪市住之江区）
- 4) 参加者 東京会場 75 名、大阪会場 23 名

(2) 第 56 回セミナー

- 1) テーマ 1, 4-ジオキサンの環境基準項目への追加と処理技術開発の動向
- 2) 開催日 平成 23 年 1 月 21 日(金)
- 3) 場 所 自動車会館大ホール（東京都千代田区）
- 4) 参加者 115 名

3. 見学会の実施

第 24 回見学会を次のとおり実施した。

- 1) 期 日 平成 22 年 11 月 5 日(金)
- 2) 場 所 ・東京都水道局朝霞浄水場（埼玉県朝霞市）
・(株)日立プラントテクノロジー 松戸ショールーム（千葉県松戸市）
- 3) 参加者 32 名

4. 水環境懇話会の開催

水環境懇話会を次のとおり開催した。

(1) 第 26 回水環境懇話会

- 1) 期 日 平成 22 年 8 月 21 日(土)
- 2) 場 所 東京都立産業貿易センター（浜松町館）（東京都港区）
- 3) テーマ ・水ビジネスと国内外マーケット（その概況）
・パネルディスカッション「水関連事業の国際展開と産官学の連携」
- 4) 参加者 58 名

(2) 第 27 回水環境懇話会

- 1) 期 日 平成 23 年 2 月 8 日(火)

- 2) 場 所 学会事務局会議室(東京都江東区)
- 3) テーマ ・「好気性グラニュールを用いた新しい排水処理技術」と「水系病原微生物の検査法」-現状と課題-
・複合微生物系のポテンシャルを引き出すための試み -排水からの生物学的窒素除去を例として-
- 4) 参加者 21名

5. その他

- (1) 日本学術会議土木工学・建築学委員会主催の第24回環境工学連合講演会(平成22年4月)を共催した。
- (2) 関連学協会の講演会等を協賛した。
- (3) IWA団体会員の会費支払手続きを代行した。
- (4) 日本学術会議の下に設置された大震災の総合対応に関する学協会の連絡会に参画した。